

IV 支援委員会・各種団体等の取組

支援委員会及び各種団体等の皆様による、大会に向けた気運醸成やおもてなしなどの取組に関する記録です。

1 未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会

2013年9月、国際オリンピック委員会（I O C）総会において、2020年夏季大会の開催都市に東京が選ばれたことを受けて、本市では、市民、関係団体と一体となった大会支援が重要であると考え、2014年4月、市民協働組織として「未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会」を設置し、全市的な誘致・支援等の体制を充実させる中で、取組を進めてきました。

その後、2015年6月のI O C理事会において、セーリング競技の開催会場が当初の開催計画で予定されていた東京都江東区若洲から、江の島に変更することが承認され、これを受けて会議体の名称を「未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」に変更しました。

支援委員会では、設立後、団体相互の連携を図りながら取り組んできました。

東京2020大会の前哨戦として2018年、2019年に江の島で開催（2020年は新型コロナウイルスの感染拡大により中止）されたセーリングワールドカップシリーズでは、地域活性化を含む大会開催に要する費用面での支援を始め、様々な形で地元として協力するなど、この間、セーリング競技の普及啓発とともに、本大会に向けて地元藤沢を盛り上げていこうと、市を挙げて取組を図りました。

No.	団体名	No.	団体名
1	藤沢商工会議所	11	公益財団法人藤沢市保健医療財団
2	公益社団法人藤沢市観光協会	12	社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会
3	一般社団法人藤沢市商店会連合会	13	特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構
4	公益財団法人湘南産業振興財団	14	江の島振興連絡協議会
5	一般社団法人藤沢青年会議所	15	慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス
6	藤沢市体育協会	16	日本大学生物資源科学部
7	公益財団法人藤沢市みらい創造財団	17	湘南工科大学
8	公益社団法人藤沢市医師会	18	多摩大学グローバルスタディーズ学部
9	公益社団法人藤沢市歯科医師会	19	藤沢市
10	一般社団法人藤沢市薬剤師会		



2 支援委員会の各構成団体における主な取組

支援委員会の各団体では、東京2020大会に向けて、気運醸成を始め、セーリング競技、さらにはパラスポーツの普及啓発等、様々な取組を行っていただき、ご支援・ご協力をいただきました。

(1) 藤沢商工会議所

東京2020大会・セーリング競技の普及啓発へのご協力に加え、オリンピック聖火リレーや、セーリング選手へのおもてなし活動など、多面的な事業協力をいただきました。

また、セーリングワールドカップシリーズでは、藤沢商工会議所をはじめ神奈川商工会議所連合会の皆様にも、費用面でのご協力をいただきました。



商工会議所青年部主催
講師に市ヨット協会の加藤 洋氏
を迎え開催



「会報紙 みなぱーく」に東京2020大会などの情報を
2017年11月～2021年11月の4年に渡り毎号掲載



2018年9月と2019年8月、セーリングワールドカップシリーズ ウェルカムフェスティバル
において、商工会議所女性会が選手関係者を野点^のでおもてなし

(2) 公益社団法人藤沢市観光協会

東京2020大会・セーリング競技の江の島開催について、横断幕等の設置、各種紙面や多言語観光ウェブサイトへの掲載、聖火リレーミニセレブレーションへの参画や選手へのプレゼント贈呈、また、外国語観光ボランティアガイドのシティキャスト参加など、様々な広報・おもてなし活動を展開し、多岐に渡って大会にご協力いただきました。

① セーリング競技江の島開催決定の横断幕・看板の設置 (2015年)



② ふじさわ観光通信へ大会情報を掲載 (2015年)



③ 藤沢市観光パンフレット「るるぶ特別編 藤沢」への掲載 (2015年、2019年)



2015年

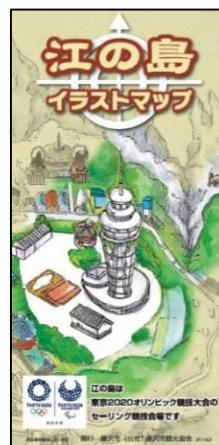


2019年

④ 多言語公式観光ウェブサイト Discover FUJISAWAへの掲載 (2016年～)



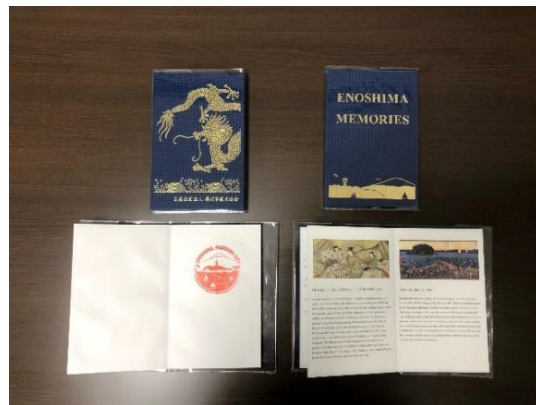
⑤ 江の島イラストマップへ大会エンブレムを掲載 (2018年～2021年)



6言語作成

- 日本語
- 英語
- 中文繁体字
- 中文簡体字
- 韓国・朝鮮語
- フランス語

⑥ セーリング選手村・事前キャンプで選手関係者にオリジナル御朱印帳の贈呈 (2021年)



⑦ 江の島ヨット音頭・東京五輪音頭 - 2020 - 披露イベント事務局 (2021年)

約200人により、セーリング選手関係者に江の島ヨット音頭・東京五輪音頭-2020-を披露するイベントである「オリンピック聖火リレー江の島ミニセレブレーション運営委員会」の事務局となり、事前準備から当日の運営まで対応いただきました。

また、同イベントで着用したものと同一デザインのオリジナルの法被を、本市が事前キャンプ地となったパラリンピックポルトガル選手団に贈呈しました。



⑧ 市のデジタルサイネージでおもてなし動画放映

7月22日(木・祝)に開催したセーリング選手へ、江の島ヨット音頭・東京五輪音頭-2020-を披露した際の様子をまとめた動画を、市役所本庁舎5階ロビーにあるデジタルサイネージで放映し、多くの市民の皆様におもてなし活動の実績を紹介しました。



(3) 一般社団法人藤沢市商店会連合会

市内10か所の商店街の街路灯フラッグ設置場所、計約400か所に大会エンブレムデザインのフラッグを掲出させていただき、市内全域における大会気運の醸成にご協力をいただきました。



(4) 公益財団法人湘南産業振興財団

セーリングワールドカップシリーズ江の島大会のダイジェスト映像を、本庁舎のサイネージ等で視聴が可能となるようにデジタルデータの変換の技術協力をいただき、多くの来庁者に映像をご覧いただくことができました。



(5) 一般社団法人藤沢青年会議所

① 「教えて！オリンピック・パラリンピックのちから～『+1』from FUJISAWA～」の開催

2020年10月、県立スポーツセンターで、東京2020パラリンピックに出場したポルトガルパラリンピック選手団の選手らと、東京2020パラリンピックの水泳で金メダルを獲得した木村敬一選手（東京ガス(株)所属）が出演し、市内の中学生とオンラインで交流を行い、ポルトガルやパラスポーツ、共生社会について理解を深めるきっかけを作ることができました。



ポルトガル選手とのオンライン交流



木村敬一選手とのオンライン交流

② オリンピック・パラリンピックをイメージしたカラーのピアノ寄贈

2021年12月、東京2020オリンピック・セーリング競技と、事前キャンプが藤沢市で開催されたことをレガシーとして形に残すために、オリンピック・パラリンピックをイメージしたカラーを施したピアノを市に寄贈していただきました。



(6) 藤沢市体育協会

① 聖火ランナーの集い 2020 江の島セーリング競技の成功を目指して

東京2020大会で、江の島がセーリング競技会場になったことを契機として、1964年東京大会で聖火ランナーを務めた方や関係者などを対象とした会合を2015年度から2019年度まで開催しました。講演の講師には、日本セーリング連盟オリンピック強化委員会の齋藤愛子氏や、2016年のリオ大会セーリング競技の日本代表で、49er級の高橋賢次選手や牧野幸雄選手を迎えるなど、藤沢市全体が一丸となって東京2020大会を盛り上げるために取り組んでいただきました。



2017年10月実施
講師に高橋賢次選手を迎え開催



2018年12月実施 講師に牧野幸雄選手を迎え開催



② スポーツ人の集い

市内のスポーツ関係者が一堂に会し、活動状況報告や意見交換、親睦を深めることを目的に2019年度に開催しました。

講演の講師には、リオ大会まで3大会連続でセーリング競技に出場した牧野幸雄選手を迎え、競技の特徴等を分かりやすくお話いただきました。



2020年2月実施

(7) 公益財団法人藤沢市みらい創造財団

市のスポーツ推進課や開催準備室と連携し、様々なスポーツ関連事業を実施し、また、体育施設でのチラシ配布・ポスター掲出や、季刊誌での大会PRなど多岐に渡りご協力いただきました。

① オリンピック教室 / パラリンピック教室

市と共催で2017年度から2019年度までの3年間開催（2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため中止）し、様々な競技のオリンピック・パラリンピアンから直接実技を学び、間近で講話を聞く機会を提供しました。子どもたちを始め、多くの市民の皆様が選手との交流を通して、かけがえのない体験をし、選手への応援や大会気運の醸成、パラスポーツの普及につながる取組となりました。



② ふじさわセーリングフェスタ

東京2020大会セーリング競技の江の島開催の決定を受けて、2017年度から2021年度まで5年連続で開催しました。セーリング競技の普及啓発は、今大会を契機として継続的に取り組まれています。



③ パラスポーツフェスタ / ふじさわボッチャ競技大会

パラスポーツフェスタは、2016年10月「かながわパラスポーツフェスタ2016 in ふじさわ」として、本市と神奈川県との共催で、秩父宮記念体育館で実施した大会を契機に、2017年度以降は、市と同財団の共催で開催され、様々なパラスポーツ体験をとおして、スポーツのノーマライゼーションの推進に取り組みました。（2017年度は荒天により中止、また、2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大により中止）

ふじさわボッチャ競技大会は、2017年度に第1回の大会を開催し、続く2018年度まで市と連携して開催しました。（2019・2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大により中止）



④ 季刊誌「MIRAI.net」やチラシに大会関連情報を掲載

同財団が年4回発行の季刊誌（発行部数：5,000部）で東京2020大会情報を随時掲載し、公共施設（市民センター・公民館、図書館、体育施設等）で配布し、また2016年リオ大会時には、藤沢市ゆかりの選手についてチラシデザインを作成いただき、広報にご協力いただきました。



2016年リオ大会出場
藤沢市ゆかりの選手のチラシ

⑤ 事前キャンプの選手団激励

同財団の非常勤職員でパラリンピアンである石井雅史氏と、同財団職員の方に、県立スポーツセンターにお越しいただき、ポルトガルパラリンピック選手団の練習の様子などを見学し、激励していただきました。

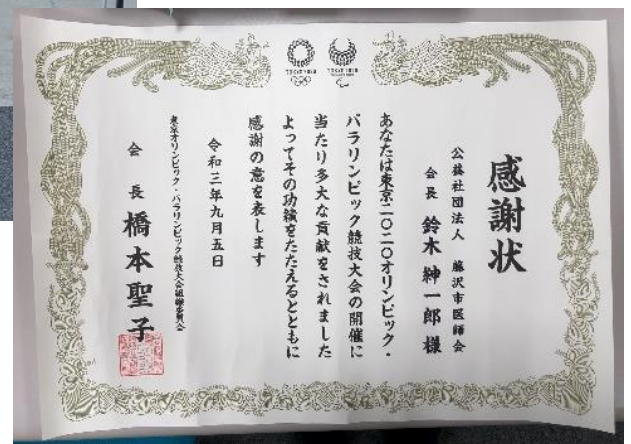


(8) 公益社団法人藤沢市医師会

大会期間中、セーリング競技会場内の医務室に医師・看護師を常時派遣していただき、安全安心の大会運営にお力添えをいただきました。



大会期間中、医師・看護師がスタッフとして従事



橋本聖子 組織委員会会長から贈呈された感謝状

(9) 公益社団法人藤沢市歯科医師会

海外から多数の観光客やセーリング競技の観戦客が、本市を訪れることが見込まれるため、南休日歯科診療所に、診療用の翻訳機を備え付け、受け入れ対応の準備を図りました。

また、同団体の敷地内にセーリングデザインのJOC支援自動販売機を設置し、大会気運の醸成にご支援をいただきました。



JOC支援自動販売機の設置

(10) 一般社団法人藤沢市薬剤師会

アンチドーピング講演会を開催したほか、啓発イベントで、東京2020大会のPRを行っていただくなど、大会の盛り上げにご協力をいただきました。



湘南藤沢市民マラソンで
アンチドーピングのブースを出展



おくすり週間イベントで
東京2020大会のPRを実施

(11) 公益財団法人藤沢市保健医療財団

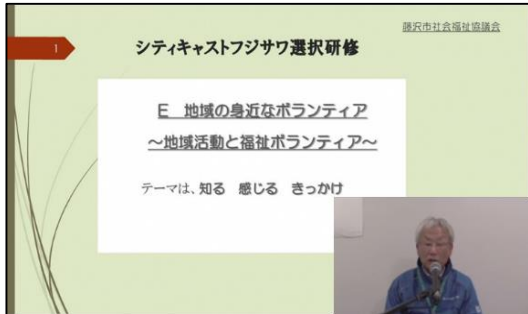
検診等の受診者などに対して、東京2020大会のPRを積極的に行っていただき、また、大会エンブレムポスターの掲出や大会関連事業のチラシ配布等を通じて大会気運の盛り上げにご協力をいただきました。



(12) 社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会

シティキャストフジサワを対象としたオンライン研修で、「地域の身近なボランティア～地域活動と福祉ボランティア～」を題材に、講話をしていただきました。

また、老人福祉センターの利用者等を対象に、江の島ヨット音頭、東京五輪音頭-2020-の講習会の開催や、主催事業でパラスポーツ体験を実施するなど、健康増進や地域福祉の推進等を目的としたイベントの中で、楽しみながら本大会に向けた盛り上げにご協力いただきました。



平成30年度やすらぎ荘サール共催事業
東京オリンピックを
盛り上げよう!

東京五輪音頭-2020- を踊ってみませんか!

日時 平成31年
2月14日(木)
午前10時～正午

場所 やすらぎ荘 1階 大広間
講師 相良陽子 氏(やすらぎ荘リズム体操講師)
対象 市民の方などなたでも
費用 無料
曲目 東京五輪音頭-2020-の
持た物 水分補給用飲み物

自由な服装で、お気軽にご参加ください。
踊りが初めての方も、大歓迎!!
自分のペースで楽しんで汗をかきましょう
*駐車場は台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関等
ご利用いただきますようお願いいたします。*

お問い合わせ 江の島ヨット音頭-2020-藤沢市民活動推進機構センター(月曜休館日) 月曜休館日
〒251-8502 藤沢市藤沢3-20-1 TEL: 81-5628 FAX: 83-4524

(13) 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

藤沢市との協働事業、「藤沢ビッグウェーブ」の事務局として、開催準備室と連携し、LINE・メールマガジンによる大会関連情報の積極的な発信や、大会に向けた気運を高めるイベントの開催、大会を盛り上げる市民の自主的な活動の支援など、市民参加型の大会の実現に向けて様々な取組を進めていただきました。藤沢ビッグウェーブ関連の取組内容については、本記録集内、各所に記載のとおりです。

(14) 江の島振興連絡協議会

〔さざ波会等の江の島島内の諸団体と実行委員会形式で実施した取組等を含みます〕

セーリングワールドカップシリーズ江の島大会における、文化イベントによるおもてなし、神輿、お囃子、江の島ヨット音頭ほかによる盛り上げを行っていただきました。

また、カウントダウンイベント等、東京2020大会関連イベントでも江の島ヨット音頭、東京五輪音頭-2020-をご披露いただくなど、非常に多岐に渡る取組にご協力をいただきました。



【江の島振興連絡協議会など地元江の島の皆様らによる取組】



(15) 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス

東京2020大会を題材とした様々な学術分野の市民講座を市と共催で実施しました。学園祭ではボッチャ競技の体験コーナーを設置し、パラスポーツの普及にご協力いただきました。また、本市で事前キャンプを行ったエジプトについて広く市民の皆様にご紹介するため、大学のアラブ文化研究会と協力して、文化PRや動画放映、パネル展示を行いました。



(16) 日本大学生物資源科学部

日本大学藤沢高校卒業生で2016年リオ大会の競泳に出場した五十嵐千尋選手に、リオ大会の市民報告会にお越しいただきました。また、セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2018の開会式で、日本大学藤沢高校の生徒が、参加国のプラカード先導者を務め、オリンピックを目指す選手との交流と、多様性を世界に発信する役割を担いました。



五十嵐千尋選手 (写真右)
(東京2020大会 競泳出場)



セーリングワールドカップシリーズ
江の島大会2018 開会式

(17) 湘南工科大学

学園祭である松陵祭で、本市の文化プログラムの重点プロジェクトに位置付けられているハンドスタンプアートの手形収集と、ボッチャ競技体験ブースの設置を行い、文化振興と共生社会の推進にご協力いただきました。

また、湘南工科大学附属高校（表敬当時）で、アジア競技大会の競泳種目で銅メダルを獲得した小堀倭加選手が、大会結果報告のため市長表敬を行いました。



ボッチャ競技体験ブース



ハンドスタンプアート



小堀倭加選手 市長表敬
(東京2020大会 競泳出場)

(18) 多摩大学グローバルスタディーズ学部

藤沢市人権啓発講演会や、藤沢市市民講座2017「東京2020オリンピック・パラリンピックを見据えて」を開催し、多様性や、藤沢市の観光・インバウンド等についての内容で講演を行いました。また、ボランティアの学内説明会や、学園祭でのセーリング写真展、ボッチャ競技体験会などを開催し、東京2020大会開催を見据え、市の取組や大会成功に向けてご協力いただきました。



3 市内各種団体等における主な取組

市内の各種団体等の皆様からも、東京2020大会に向けて、気運の盛り上げやおもてなしなど、多岐にわたる取組を通じご支援・ご協力をいただきました。

(1) ボランティア企画提案プロジェクト

ボランティア活動の活性化を目的として、ボランティア関連事業提案を募集したところ、28団体の応募があり、11団体が採択されました。



<湘南台アートスクエアプロジェクト>

湘南台駅地下広場を、音楽、アートなどの文化や交流の場として盛り上げるボランティアによる取組。イベントでは中学生・高校生による東京2020大会にまつわる絵画も展示されました。



<シェルチャームをセーリング選手村で提供>
ボランティアの方により、着物の端切れから日本のおみやげとして作られました。



<#フジサワの高校生プロジェクト>

高校生が地元を誇りを持ち、街を盛り上げていく活動のきっかけづくりを目指す取組。
江ノ島電鉄のご協力の下、各駅へポスターを掲出しました。
また、高校生映像クリエイター募集事業として、PR動画作成を実施しました。

(2) 江島神社との連携

東京2020大会出場のセーリング選手のために扇子をいただき、セーリング選手村（大磯）で贈呈しました。また、セーリングワールドカップシリーズ開催時には、海外選手のおもてなしの場をご提供いただきました。



(3) 藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会との連携

東京2020大会の開催を契機として、2018年8月に設立された藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会では、2019年度から、市と共催でパラスポーツフェスタを開催するなど、障がい者スポーツの普及啓発等に向けて取組を進めています。

2021年8月には、同協議会の種田多化子会長がポルトガルパラリンピック選手団の事前キャンプを視察され、選手たちを激励するとともに、障がい者スポーツの今後の環境整備等に向けて、情報収集を図られました。



種田会長あいさつ
(パラスポーツフェスタ開会式)



ポルトガルパラリンピック選手団
事前キャンプを視察

(4) 地区社会体育振興協議会との連携

市内35地区の地区社会体育振興協議会と連携し、各地区で開催される地区レクリエーション大会などで、東京2020大会の「のぼり旗」を掲げ大会気運の醸成にご協力をいただきました。



(5) 善行地区社会福祉協議会との連携

善行地区社会福祉協議会広報部会の方が、地区内の県立スポーツセンターを訪れ、事前キャンプを行ったポルトガルパラリンピック選手団の練習風景を見学し、練習の様子を善行地区福祉だよりで練習の様子を情報提供するなど、共生社会の推進に向けて地区内に啓発を図っていただきました。



(6) 藤沢市内のロータリークラブの取組

東京2020オリンピック・セーリング競技開催期間中、ふじさわ湘南ロータリークラブなど市内の9つのロータリークラブが合同で、江の島を訪れた方へのクールスポットとして、江の島北緑地広場にブースを設置し、熱中症対策のうちわを配布していただきました。



(7) 藤沢駅前商業施設との連携

フジサワ名店ビルの壁面広告に、藤沢ビッグウェーブをPRする懸垂幕の作成と、掲出場所をご提供いただきました。



(8) 湘南ジャズ体操ファミリーとの連携

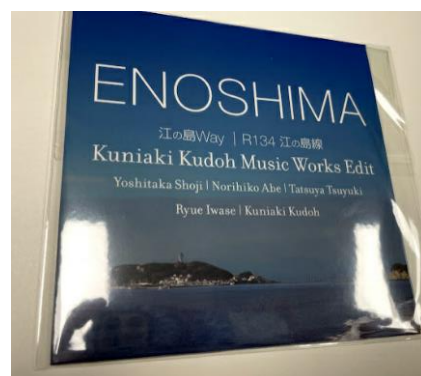
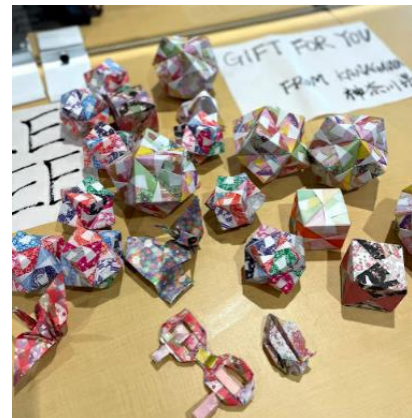
大会500日前イベントをはじめ、多数のイベントで東京五輪音頭-2020-を踊り、また、踊り方の講習会を開催していただくなど、大会気運の醸成にご協力をいただきました。



(9) 市民有志の皆様からのおもてなし

市民有志の方から、東京2020大会の開催を記念して、おもてなしのために自身が作詞作曲した楽曲を収めたCDを事前キャンプ実施国やセーリング選手へのおもてなしとして、事前キャンプ実施時やセーリング選手村（大磯）でお贈りしたほか、藤沢市民まつり等の気運醸成ブースなどで配架させていただきました。

また、シティキャストフジサワの有志が同じくおもてなしのために制作した手作りの小物などについても、事前キャンプ実施国の選手関係者らにお贈りしました。



(10) 子どもたちによる事前キャンプ実施国への激励

県立スポーツセンターで、ポルトガルパラリンピック選手団の事前キャンプの実施期間と同時期に、夏休みの子どもの居場所事業「サマースクール」に参加していた児童から、選手関係者へ、応援や歓迎のメッセージが贈られたほか、手旗等による観覧席からの応援や、選手村（晴海）へ出発するバスのお見送りをするなど、激励していただきました。

また、地元善行地区にある児童養護施設の子どもたちが描いた応援メッセージの掲示とともに、同施設で制作した応援メッセージ動画を放映するなどし、激励の気持ちを伝えました。



サマースクールに参加した児童による観覧席からの応援やバスの見送りなど



児童養護施設の子どもたちが描いた応援メッセージの掲示と応援メッセージ動画の放映



(11) 選手関係者への託児協力

江の島ヨットハーバーでの練習時や、セーリングワールドカップシリーズなどの国際大会の開催時における選手関係者の子どもの託児について、市内の保育ボランティア「子育てじゃん・けん・ぽん」の皆様にご協力をいただきました。また、その他、江の島島内の方のご厚意により土産物店の一室を託児場所として提供いただく等ご協力いただきました。



(12) 東京2020大会パートナー企業との連携

東京2020大会パートナー企業と、イベントでの出展、大会関連グッズ等の協賛、事業協力など多様な連携を図り、大会気運の醸成につなげました。また、本市と包括協定を提携している大会パートナー企業とも連携して取り組みました。

① 東京海上日動火災保険株式会社神奈川支店



リスクマネジメントに関する
職員向けセミナー



ポッチャボール寄贈



職員スポーツ大会にゲスト参加



イベントでのポッチャ体験、ブース出展にご協力

② 東京ガス株式会社神奈川西支店



イベントでのポッチャ体験、ブース出展にご協力



職員スポーツ大会にゲスト参加



東京2020パラリンピック競技大会報道写真展

③ トヨタ自動車株式会社



イベントでの大会啓発用物品の配布・お絵描き用車両のMIRAIの出展



市内外の販売店で藤沢ビッグウェーブのポスター等の掲出



イベントへの神奈川県オールトヨタ販売店アンバサダー 女優 釈由美子さんの出演ご協力

④ コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社

JOCオリンピック支援自動販売機の、セーリングデザインを全国で初めて、藤沢市朝日町駐車場の敷地内に設置したほか、市内4か所の体育施設及び、3か所の消防署出張所にも設置しました。東京2020オリンピック聖火リレー点火セレモニーが開催された辻堂神台公園には、聖火リレーデザインの自動販売機を設置しました。

また、本市主催のイベント等に、フォトスポット物品の貸し出しや、飲料の提供をいただき、大会気運醸成にご協力をいただきました。



セーリングデザインの自動販売機



イベントでの飲料提供



聖火リレーデザインの自動販売機



フォトスポット物品の貸出協力

⑤ 日本郵便株式会社



山田恵里選手の地元の御所見郵便局に
ゴールドポスト設置 全国第1号



市内31郵便局へ藤沢ビッグウェーブの
ポスターを掲出協力

⑥ 東日本旅客鉄道株式会社横浜支社



藤沢駅自由通路に横断幕設置協力



イベントでのブース出展にご協力

⑦ 総合警備保障株式会社



イベントでのブース出展にご協力



子ども用の制服着用体験・撮影会

⑧ アサヒビール株式会社



イベントでのブース出展
飲料の提供にご協力

(13) 鉄道のラッピングによる気運醸成の取組

江ノ島電鉄と湘南モノレールの車体に県内開催4競技デザインの東京2020マスコット・ミライトワをデザインしたラッピングを神奈川県が行い、また、小田急電鉄も同様に東京2020マスコットをデザインした車両を運行し県民や沿線を訪れる観光客などに広く大会開催をPRしました。

なお、江ノ島電鉄は、セーリングワールドカップシリーズの開催をPRするため、セーリング日本代表チームの愛称である「日の丸セーラーズ」のロゴマークをあしらったラッピングトレインも運行し、セーリングの盛り上げを後押ししました。

